

# 東洋音楽研究

第七九号

# 目次

## 論文

徳宏タイ社会における即興うたカーム・マークの詩的表現技法……………	伊藤 悟……………
精霊とゴングと拘束なき雑多な集まり―北東カンボジアにおける供儀・憑依―……………	井上 航……………

## 研究ノート

江戸初期の謡本におけるツヨ吟を示す胡麻の配列……………	丹羽 幸江……………
-----------------------------	------------

## 資料紹介

十四世紀ベルシアの音楽論―『カンゾル・トハフ <i>Kanz al-tuhaf</i> 』(第二講)の訳注と諸写本の校異―……………	柘植 元一……………
--	------------

## 書評

奥中 康人著『幕末鼓笛隊―土着化する西洋音楽』……………	塚原 康子……………
梶丸 岳 著『山歌の民族誌―歌で詞藻を交わす』……………	酒井 正子……………
貴志 俊彦著『東アジア流行歌アワー―越境する音 交錯する音楽人』……………	劉 麟玉……………
新堀 欲乃著『近代仏教教団とご詠歌』……………	澤田 篤子……………
塚田 健一著『アフリカ音楽学の挑戦―伝統と変容の音楽民族誌』……………	海野 るみ……………

## 視聴覚資料評

小島美子、薦田治子、沢井邦之、角美弥子、中山一郎編『イタコ 中村タケ』……………	寺内 直子……………
--	------------

彙報

定例研究会記録

東日本支部	115
西日本支部	119
沖繩支部	121
第六四回大会記録	122
第三一回「田邊尚雄賞」選考報告	126
平成二六年度藝術学関連学会連合に関する報告	127
平成二六年度ICTMに関する報告	128
平成二五年度音楽文献目録委員会の活動報告	131
平成二四・二五年度役員等一覧	132
『東洋音楽研究』投稿規定	136
編集後記	140

英文目次 English Contents